

くるみん及びユースエールの認定通知書交付式を開催しました！

平成29年12月19日、群馬労働局では、次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定企業」として認定したしののめ信用金庫及び、若者雇用促進法に基づく「ユースエール企業」として認定した社会福祉法人吉栄会、株式会社セノテックに対する認定通知書交付式を開催しました。



株式会社セノテック
管理部課長 山本様

社会福祉法人吉栄会
理事長 平井様

半田群馬労働局長

しののめ信用金庫
理事長 横山様

くるみん認定は、子育て支援に関する「一般事業主行動計画」の策定及び目標の達成、女性の育児休業取得率が75%以上、男性の育児休業取得者がいること等の基準を満たした企業が受けることができます。

認定された企業は、認定マーク(愛称:くるみん)を、従業員の募集や商品の広告、ホームページ等で表示し、優秀な人材の確保・採用や、企業イメージの向上につなげることができます。



ユースエール認定企業の認定を受けるためには、人材育成方針及び教育訓練計画の策定、直近3事業年度の新卒者などの正社員として就職した人の定着状況、正社員の所定外労働時間の実績、正社員の有給休暇の取得実績、男女労働者の育児休業等の取得実績など、各種要件をクリアした優良な中小企業である必要があります。



し の の め 信 用 金 庫

～理事長 横山様からのコメント～

本日は、くるみん認定をいただきまして誠にありがとうございます。
ございます。

私ども、信用金庫という組織について、簡単にご紹介させていただきます。と思います。

信用金庫は、一言で申し上げますと地域という共通項で結ばれた、共同組織金融機関でございます。具体的には、信用金庫では活動する地域、営業エリアが定められています。し の の め 信用金庫であれば、群馬県南部から埼玉県北部のエリアです。こうした中で、住まわれる方もしくは仕事をされている方、この方だけが会員になれる、こういった金融機関であります。ということは、株式会社である銀行さんのように東京など他の地域に出ることができないわけでごしまして、地域の将来、これは私ども信用金庫の将来を支える次世代をどうやって育成支援できるのか、このことは私ども信用金庫にとっては死活問題と言えるわけでご致します。



こうした観点で、今回のくるみんの認定ということで、次世代育成支援に取り組まさせていただいております。また、当然、私ども自身が取り組む次世代育成支援だけではなくて、地域で活動する金融機関として、地域の次世代の子どもたち又は孫のために作り上げていく、これも私どもの使命と考えております。こうしたことを進めていくためには、当然私どもは、労働環境を整えて、人材育成、人材活用を進めていかなければならないわけです。

とりわけ、次世代育成支援ということになりますと、女性の活躍する職場を作らなければならない、女性の活躍する職場というのは、男性も職場で活躍する職場であろうと思っています。さらに言えば、多様な人材の個性をしっかりと活かす組織であろうと思っています。そのような組織を作り上げるために一生懸命頑張る所存です。

今回のくるみんの認定に甘んじることなく、これからはしっかりとより良い労働環境を整えるために頑張っておりますので、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人吉栄会

～理事長 平井様からのコメント～



本日は、このような認定をいただいて驚いております。
保育園というところは、俗にいう「4K」の職場でした。
そういう中で、保育士さんが日々、一生懸命保育に取り組んでいますが、やはりどうしても人手が足りず休暇も取れない、そのような職場でした。
最近、認定こども園制度が導入されてきて、とても良い制度という風実感しております。



私どもの職場も、保育士が今 30 人おります。同じ規模で、15 年、20 年前は 15 人程度でした。1 人が職場を休むと大変な状況でした。それが現在では、このような働きやすい職場という認定をいただき、非常に驚いております。
今後とも、この認定の名に恥じないように、保育園、それから認定こども園をしっかりと運営してまいりたいと思っております。



株式会社 セノテック

～管理部課長 山本様からのコメント～



本日は、ユースエール認定をいただきありがとうございます。

私どもの会社では、主に体育器具や、施設に設置されている器具を製造している会社でございます。親会社の「セノー株式会社」は創業1908年で100年を超える企業です。当社は、現在の沼田市横塚町で製造をし始めて37年で、セノーに比べれば短い期間ではございますが、100年を超える企業の商品・製品を製造している企業でございます。

私どもは、技術の継承をし、歴史に伴って製造している商品が、今後も引き続き使っていただけることを目指しております。特に若年層に対し技術を継承して、今後200年を目指せるような企業の育成に努めていきたいと考えております。また、2020年には東京オリンピックも開催されます。まだ、私どもの製品が採用されるかどうかは何も決まっておりませんが、会社としましては私どもの製品が採用されることを目指しており、そういった意味でも、より品質の高い製品を作り、企業全体で目指していきたいと考えております。

今後も、沼田市の若者の方を採用していく考えでもありますし、特に若者がスポーツという慣れ親しんだもので世界を目指せるような製品を作りながら頑張っていきたいという風に考えております。

今後ともよろしくお願いいたします。

